

# 下水処理施設

**D種** 適合 JS技術マニュアル **I類** 及び **II類** の腐食環境に対応

塗布型ライニング工法

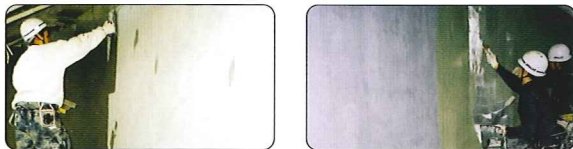
## ジックレジン JE-PM2プライ工法 [協会保証対象工法]

工法選定の目安 一般的に適用されるエポキシ樹脂による標準工法

ジックレジン JE-PM2プライ工法は、厳しい酸性腐食環境に曝され、事実上補修工事の実施が困難で、長期メンテナンスフリーが要求されるコンクリート施設に適用する防食設計仕様として、優れた保護機能を有するエポキシ樹脂系防食被覆工法です。

材質 エポキシ樹脂+補強材2層

被覆構成



素地調整材  
エポキシエマルジョン系  
ポリマーセメント

+

防食被覆材  
エポキシ樹脂

### JE-PM2プライ工法 [被覆構成]

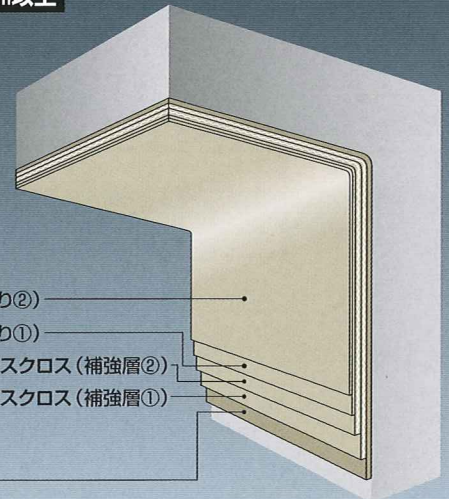
被覆厚 1.3mm以上

防食被覆層

E301T (上塗り②)  
E301T (上塗り①)  
E301T+ガラスクロス (補強層②)  
E301T+ガラスクロス (補強層①)

素地調整層

HE104X



特長

- 1) 2層のガラス繊維によって強化された防食被覆層は、均質強固で、耐久性に富み、長期間優れた保護機能を維持します。
- 2) コンクリートとの接着安定性に優れ、長期間安定した接着力を保持します。
- 3) 下水道関連施設の過酷な腐食環境に対して十分な耐食性能を有します。

対象施設

下水道関連施設の内

吐出渠、導水渠、初沈スカムピット及びスカム水路、終沈スカムピット及びスカム水路、脱離液、分離液ピット、分離液水路、返送汚泥水路、管渠など

下水道類似施設、し尿処理施設、廃棄物・ごみ処理施設など

● 厳しい腐食環境となり、メンテナンスフリーが求められるコンクリート施設部位

## ジックレジン JE-PM2プライ工法

## 仕様

工程	使用材料名	塗り重ね間隔 (20℃) (前工程終了後)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	硬化後厚さ (mm)
表面処理	躯体の欠陥部処理・防水処理・付着阻害物の除去が完了していることを確認しサンディング・高圧水等により表面処理を行う。			
素地調整	ジックレジン HE104X	短期間内	1.0	—
補強層①	ジックレジン E301T	16時間以上 7日以内	0.35	1.3以上
	ガラスクロス		200g/m <sup>2</sup>	
	ジックレジン E301T		0.3	
補強層②	ジックレジン E301T	9時間以上 7日以内	0.35	
	ガラスクロス		200g/m <sup>2</sup>	
	ジックレジン E301T		0.3	
上塗り①	ジックレジン E301T	9時間以上 7日以内	0.25	
上塗り②	ジックレジン E301T	9時間以上 7日以内	0.2	

## 防食被覆工法の規格性能

項目	規格	試験結果	
被覆の外観	被覆にしわ・むら・はがれ・われのないこと。	適合	
コンクリートとの 接着性	標準状態	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上	適合
	吸水状態	1.2N/mm <sup>2</sup> 以上	適合
耐酸性	10%の硫酸水溶液に60日間浸漬しても、被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。	適合	
硫黄侵入深さ	10%の硫酸水溶液に120日間浸漬したときの侵入深さ設計厚さに対して5%以下であること、かつ、100μm以下であること。	適合	
耐アルカリ性	水酸化カルシウムの飽和水溶液に60日間浸漬しても被覆にふくれ・われ・軟化・溶出がないこと。	適合	
透水性	透水量が0.15g以下	適合	

○適用品質規格：日本下水道事業団 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル 塗布型ライニング工法D種の品質規格

○試験実施機関：財団法人 日本塗料検査協会

○マニュアル規定による公的試験機関

会員名

**JR JERコンクリート補改修協会**  
(旧協会名：JER認定施工協会)

事務局(日本ジッコウ内)

〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6号  
TEL:078-977-0701(代) FAX:078-977-0722  
URL:http://www.jer.jp E-mail:info@jer.jp